

移住者動態基礎調查報告

昭和56年3月

国際協力事業団

移計調

81-6

ARY

JICA LIBRARY



1028988[1]

国際協力事業団		
受入 月日	'84. 8. 20	700
登録No.	13102	23.4
		EP

は　じ　め　に

移住業務を担当する当事業団が、移住者の渡航後の動向を掌握することは業務方針の立案、具体的施策の決定等において不可欠のことである。特に、移住初期においては、移住者は生活基盤の面からも精神的な面からも極めて不安定な状況にある。こうしたことから移住後数年間の移住者の動向を十分把握することが、移住者の早期定着・安定への援助を考える上で非常に重要なことである。

以上のような認識にたつて、従来各種の移住者実態又は動態調査として実施してきたものを今後「移住者動態調査」として一本化することとした。この調査は渡航後2年目及び5年目の移住者の現況調査である基礎調査と各種のテーマ設定により実施する特別調査からなるが、本書は昭和55年度実施の基礎調査の結果をまとめたものである。本調査は継続実施することに意味があるが、単年度の結果においても業務上の参考となると思われるので業務資料として印刷した。

なお、本資料は内容が移住者の動向の細部にわたるため取扱い注意としたので承知されたい。

昭和56年3月

移住計画調査部長

目 次

I 総 括	1
1. 調査の経緯と目的	1
2. 調査時期	1
3. 調査方法	1
4. 総合所見	3
II 調査結果	4
1. 昭和50年度渡航移住者の動向	4
2. 昭和53年度渡航移住者の動向	7
3. 自営農移住者の動向	9
4. 雇用農移住者の動向	11
5. 技術移住者の動向	20
6. その他移住者の動向	28
7. 近親呼寄せ移住者の動向	31

Ⅰ 総 括

1 調査の経緯と目的

- (1) 事業団は移住者の現地での定着、安定のための援護を業務の大きな柱としている。こうした援護施策の対象となる移住者の移住先国における実態・動向といったものはできる限り掌握しておく必要がある。勿論、全ての移住者について永久にその動向を追跡することは困難である。
- (2) 事業団援護業務の重要な目的は、移住者の移住先における移住初期の定着・安定を援助することにある。この移住初期においては、言葉や習慣の違いによる戸惑いや生活安定（経済基盤の確立）のための苦勞も多く、事業団が援助の手を差し述べるべき時期でもある。即ち移住者の生活が安定し、移住先の生活に慣れるまでの渡航後5年程度を移住初期と考え、この間の移住者の動向を掌握、業務に反映させることが必要である。
- (3) 移住者の実態、動態に関し事業団は、従来「移住者動態調査」（カナダ）および「雇用員実態調査」「工業移住者実態調査」「散在移住者実態調査」を実施、その掌握に務めてきた。しかし、前述のごとき認識にたち、このような移住形態の区分による夫々の調査の別個実施に加え、移住初期の移住者の実態を総合的に把握するための調査も必要である。
- (4) なお、この新「移住者動態調査」は毎年継続する基礎調査と年度毎のテーマにより実施する特別調査からなる。夫々の調査内容等は、資料1「移住者動態調査について（指示）」（移住計画調査部長発 全機関の長宛 移計共（全）第7-1号 55年7月1日付）のとおりである。
- (5) 昭和55年度については、従来からの経緯による「散在移住者実態調査」等を実施するため、この考え方にたった特別調査は実施せず基礎調査のみを実施し、移住者の帰国、転住等その詳細な動向を把握、集計した。

2 調査時期

資料1（移計共（全）第7-1号）により調査を指示し、各支部からの報告を9月末までとした。各支部により若干の違いはあるが、今回調査については調査時期を昭和55年8月としてさしつかえない。

3 調査方法

資料1（移計共（全）第7-1号）の通り昭和50年度及び昭和53年度における南米向移住者について資料2の様式により、移住先支部別、送出扱い支部別のリストを夫々作成した。海外支部に対しては移住先支部別リストを、国内支部に対しては送出扱い支部別リストを送付

し、当該リストの移住者の内、各支部が掌握しているものについてその動向を帰国、転住、転出等の事実に従い本部に報告した。(報告様式は資料1の通り)、これら報告をもとに移住計画調査部調査開発課がこの結果をとりまとめた。

なお、調査対象となる昭和50年度、53年度の国別、形態別移住者数は表1の通りである。

表1. 昭和50年度、53年度国別・形態別移住者数

国	年度		50年度				53年度			
	形態	区分	家族	人数	单身	計	家族	人数	单身	計
ブラジル	自営	農	3	11		11	2	8		8
	雇	農	16	46	54	100	15	53	51	101
	雇	工	24	84	50	134	20	73	63	136
	雇	他	1	2		2	1	2	2	4
	近親		8	20	32	52	9	18	28	46
	計		52	163	136	299	47	151	141	258
パラグアイ	自営	農	12	47	1	48	7	28	3	31
	雇	農	1	4	15	19			8	8
	雇	工			1	1			6	6
	雇	他			1	1			2	2
	近親				4	4			6	6
	計		13	51	22	73	7	28	25	53
アルゼンティン	自営	農			9	9	4	13	10	23
	雇	農	2	9	9	18	1	10	2	12
	雇	工	1	5		5				
	雇	他			8	8	3	6	4	10
	近親									
	計		3	14	26	40	8	29	16	45
ボリウエア	自営	農					3	12	1	13
	雇	農	1	4	1	5			3	3
	雇	工	1	3	1	4			4	4
	雇	他			2	2	1	3	3	6
	近親									
	計		2	7	4	11	4	15	11	26
ヴェネズエラ	雇	工					1	2	2	4
	近親									
	計					1	2	2	4	
コロンビア	雇	農							1	1
	雇	工							1	1
	雇	他			1	1				
	計			1	1			2	2	
合計	自営	農	15	58	1	59	9	36	3	39
	雇	農	17	50	78	128	22	78	71	149
	雇	工	27	97	61	158	21	83	74	157
	雇	他	3	10	2	12	2	4	11	15
	近親		8	20	47	67	13	27	41	68
	計		70	235	189	424	67	228	200	428

4 総合所見

本調査の主要な目的は、移住者個々の現況を知り、これを記録することと同時に、移住初期の移住者の時間経過に伴う動向パターンを知ることである。この点からすれば、初年度の調査結果のみをとらえ、何らかの判断や結論が出せるものではない。今後、本調査を継続してゆくなかで、業務上重要かつ興味深い結果を得ることが出来るものと期待される。

ここでは、本年度の調査から気付いた点をいくつか指摘しておきたい。

- (1) 帰国率が5年目には27%にも達しており、移住業務担当者として約 $\frac{1}{3}$ もの移住者が5年以内に帰国することについては重大に受けとめねばならない。今後は5年目以降にこの帰国率がどの程度増えるかについても追跡してみる必要もあろうし、他の年度の移住者についてもこのように高い帰国率を示すのかどうかについても知らねばならない。
- (2) 雇用農移住者、雇用工移住者の異動率は高い。この形態の移住については、その意味で、移住初期からの異動を前提として考えておく必要があろう。
- (3) 移住後、他の国に再移住するケースがある。こうしたケースを移住業務を担当する側としてどう理解するかについて考えておく必要があろう。
- (4) 本調査は移住者の動向を事実として捉えたものであるが、将来的にはこうした動向の要因追求も必要となろうし、業務遂行上は、その点がより重要であるとも考えられる。

Ⅱ 調 査 結 果

1 昭和50年度渡航移住者の動向

昭和50年度における移住者数は表1の通りであるが、近親呼寄移住者を含め調査対象件数259件であり、このおおまかな動向は表2の通りである。

表2 昭和50年度移住者動向

国名	移住形態	渡航時と変更なし	移住形態・住所等異動	帰国	不明
ブラジル	自営農	1	2		
	雇用農	2	45	21	2
	雇用工	4	43	21	5
	その他				1
	近親	26	1	9	5
	計	33	91	51	13
アルゼン ティン	雇用農		3	6	1
	雇用工	3	5	2	1
	その他	1			
	近親	4		4	
	計	8	8	12	1
パラグアイ	自営農	8	2	3	
	雇用農		11	5	
	雇用工				1
	その他			1	
	近親	2		2	
計	10	13	11	1	
ポルヴァイ	雇用工		1	1	
	その他		1	1	
	近親	2			
	計	2	2	2	
コロンビア	近親	1			
	計	1			
合 計	自営農	9	4	3	
	雇用農	2	59	32	2
	雇用工	7	49	24	7
	その他	1	1	2	1
	近親	35	1	15	5
	合 計	54	114	76	15

なお、近親を除く移住者203件（雇用工1件は、家族が別便で移住したものであり、これは近親扱いとした。）について形態別にその動向を見ると表3の通りである。

表3. 昭和50年度移住者形態別動向

総数	形態	区 分	数
16	自 営 農	渡航時に同じ	9
		自営農 他地区	1
		他の職業で自営	1
		転 出	2
		帰 国	3
95	雇 用 農	渡航時に同じ	2
		自営農	23
		歩合作	2
		借地農	2
		他農場	2
		他の職業で自営	7
		他の職業	19
		その他	3
		転 出	1
		帰 国	32
		不 明	2
87	雇 用 工	渡航時に同じ	8
		自 営	5
		共同経営	6
		他の会社へ勤務	34
		他の職業	1
		その他	2
		帰 国	24
		不 明	7
5	そ の 他	渡航時に同じ	1
		他会社勤務	1
		帰 国	2
		不 明	1

昭和50年度移住者の内、帰国した者76件について、渡航から帰国までの期間を見ると表4の通りである。

なお、一時帰国(6件)を除く、帰国率は27.0%である。

表4. 昭和50年度移住者帰国内訳

渡航から帰国までの期間	件数	%
1年以内	15	19.7
1～2年	7	9.2
2～3年	10	13.2
3～5年	16	21.0
帰国時期不明	22	29.0
一時帰国	6	7.9
計	76	100.0

2 昭和53年度渡航移住者の動向

昭和53年度における調査対象件数267件について、このおおまかな動向を見ると表5の通りである。

表5. 昭和53年度移住者動向

国名	移住形態	渡航時と変更なし	移住形態・住所等異動	帰国	不明
ブラジル	自営農	2			
	雇用農	17	37	9	2
	雇用工	23	44	16	1
	その他	3			
	近親	32	3	1	1
	計	77	84	26	4
アルゼンティン	雇用農	6	5	3	
	雇用工		1	2	
	近親	8			
	計	14	6	5	0
パラグアイ	自営農	9	1		
	雇用農	2	4	2	
	雇用工	4	1	1	
	その他		1	1	
	近親	5			
	計	20	7	4	0
ポリヴィア	雇用農	2	1		1
	雇用工			2	1
	その他	4			
	近親	2		2	
	計	8	1	4	2
コロンビア	雇用農		1		
	その他			1	
	計	0	1	1	0
ベネズエラ	その他	1		1	1
	計	1	0	1	1
合計	自営農	11	1		
	雇用農	27	48	14	3
	雇用工	27	46	21	2
	その他	8	1	3	1
	近親	47	3	3	1
	合計	120	99	41	7

なお、近親を除く213件について形態別にその動向を示すと表6の通りである。

表6. 昭和53年度移住者形態別動向

総数	形態	区 分	数
12	自 営 農	渡航時に同じ	11
		転 出	1
93	雇 用 農	渡航時に同じ	27
		自営農	12
		農場管理人	2
		牧場勤務	1
		他の職業で自営	6
		他の職業で共同経営	2
		他の職業	14
		学 生	8
		職業不明	4
		帰 国	13
		死 亡	2
		不 明	2
96	雇 用 工	渡航時に同じ	28
		自 営	3
		共同経営	3
		他の会社へ勤務	33
		他の職業	4
		その他	2
		帰 国	21
		不 明	2
12	そ の 他	渡航時に同じ	8
		帰 国	2
		不 明	2

53年度移住者の内、帰国している者39件について渡航から帰国までの期間を見ると表7の通りであり、一時期帰国(7件)を除く帰国率は12.0%である。

表7. 昭和53年度移住者帰国内訳

渡航から帰国までの期間	件数	%
1年以内	13	33.3
1~2年	11	28.2
帰国時期不明	6	15.4
一時帰国	9	23.1
計	39	100.0

3 自営農移住者の動向

自営農移住者は50年度16件、53年度12件であり、その動向は表8の通りである。

表8. 自営農移住者の動向

昭和50年度移住者		昭和53年度移住者	
動向	件数	動向	件数
(ベレーン支部)		(ベレーン支部)	
渡航時に同じ	1	渡航時に同じ	2
他地区へ転出(農業)	1		
・ (不明)	1	(アスンシオン支部)	
(アスンシオン支部)		渡航時に同じ	9
渡航時に同じ	8	アルゼンティンへ転出	1
他地区へ転出(製造業)	1		
ブラジルへ転出(不明)	1		
帰国	3		

当初入植地にそのままとどまっている者が50年度56.3%、53年度91.7%と多い。なお、50年度移住者のうち帰国した3名はパラグアイ移住者であり、ブラジル(ベレーン)移住者3件は他地区へ転出したもの2件を含め、現在もブラジルに在住している。パラグアイ移住者の内1件は、渡航後1年でブラジルに転住している。

53年度移住者については帰国等はなく、パラグアイ移住者1名がアルゼンティンへ転出し

ているのが唯一の異動である。

自営農移住者個々の動向は、表9に示すとおりである。

表9. 昭和50年度・53年度自営農移住者個別動向表

(昭和50年度)

ペレン支部

台帳No	渡航時 人数	注時K同じ	異 動	帰 国	備 考
22013	4		・1975年第2トノアス→1977年南伯 ・自営農 第2トノアス→カスタンヤール		
22105	2	○			
22210	5				

アスンシオン支部

22038	4		・1976年ブロック工場経営イグアス→エンカルナシオン ・1976年イグアス→ブラジル 住所不明		
22039	7				
22102	2	○			
22127	6	○			
22160	6	○			
22207	2	○			
22230	4	○			
22231	3	○			
22232	2	○			
22258	1				・1979年1月 帰国治療中死亡
22259	3				○
22260	4				○
22261	4	○			

(昭和53年度)

ペレン支部

22919	4	○			
22924	4	○			

アスンシオン支部

22812	5	○			
22813	2	○			
22870	2	○			
22886	1	○			
22887	1	○			
22888	1		・アルゼンティン転住		
22997	5	○			
23016	4	○			
23017	5	○			
23053	5	○			

4 雇用農移住者の動向

雇用農移住者は、昭和50年度95件、53年度93件であり、その動向は表10の通りである。

表10. 雇用農移住者の動向

昭和50年度移住者		昭和53年度移住者	
動 向	件数	動 向	件数
(ベレーン支部)		(ベレーン支部)	
独立(同地区)	6	渡航時と同じ	6
・ (他地区)	5	独立(同地区)	5
パール経営(他地区)	1	サラリーマン(同地区)	1
農協職員(同地区)	1	・ (他地区)	1
サラリーマン(他地区)	1		
帰 国	2	(サンパウロ支部)	
		渡航時と同じ	10
(サンパウロ支部)		雇用主をかえる(同地区)	3
渡航時と同じ	2	独立(同地区)	2
雇用主をかえる(同地区)	2	・ (他地区)	2
独立(同地区)	3	農業以外で独立(同地区)	4
・ (他地区)	1	・ (他地区)	2
歩合作(同地区)	2	サラリーマン(同地区)	5
借地農(・)	1	・ (他地区)	3
農業以外で独立(同地区)	3	その他	10
・ (他地区)	2	死 亡	1
サラリーマン(同地区)	7	帰 国	7
・ (他地区)	8	一時帰国	1
その他	2	不 明	1
帰 国	15		
一時帰国	4	(ポルト・アレグス支部)	
不 明	2	渡航時と同じ	2
(ブエノス・アイレス支部)			
独立(同地区)	1	(ブエノス・アイレス支部)	
借地農(・)	1	渡航時と同じ	6
牧 師	1	独立(他地区)	1
帰 国	6	農業以外で独立(同地区)	2

昭和50年度移住者		昭和53年度移住者	
動 向	件数	動 向	件数
(アスンシオン支部)		サラリーマン(同地区)	1
独立(同地区)	7	その他(他地区)	1
農業以外で独立(同地区)	1	帰 国	1
サラリーマン(同地区)	1	一時帰国	1
ブラジルへ転出	1	死 亡	1
その他	1		
帰 国	5	(アスンシオン支部)	
		渡航時に同じ	2
		独立(同地区)	1
		サラリーマン(同地区)	1
		ブラジルへ転出	1
		アルゼンティンへ転出	1
		帰 国	2
		(サンタ・クルス支部)	
		渡航時に同じ	1
		独立(同地区)	1
		農業以外で独立(同地区)	1
		不 明	1
		(コロンビア支部)	
		サラリーマン(他地区)	1

雇用工移住者と同様、異動の激しいカテゴリーで2年目にしてすでに約 $\frac{1}{3}$ が異動し、5年目では渡航時のまま居るものは21%にすぎない。独立を最終目的とする経過的な移住形態であれば、これも当然の結果かも知れない。ただ、帰国する者も多く、「身軽な移住者」というイメージは強い。昭和50年度移住者については雇農移住者の33.7%が帰国しており、53年度においてすら13.9%が帰国している(一時帰国を含む)。更に50年度雇農移住者の内アルゼンティンの場合9件の内6件が帰国している点は注意を要しよう。

なお、歩合農、信託農等を含め、すでに独立しているものが昭和50年度で28.4%、53年度で12.9%という数字はますます順調に思える。ただ地域による差が大きく、事業団直営入植地を持つ支部での雇農の独立率は著しく高い。独立に占める土地代金の大きさを感じさせる。雇農移住者について見るとき、もう一つの大きな特徴は、農業以外の職業に移るケー

スが非常に多いことで、これは移住手続上、農業での移住が安易であることを示すものだろうか。50年度移住者では27.4%が、53年度では23.6%がすでに転職している。

雇員農移住者個々の動向は表11の通りである。

表11. 昭和50年度、53年度雇員農移住者個別動向表

(昭和50年度)

ベレン支部

台帳No	渡航時 人数	渡航時と同じ	異 動	帰 国	備 考
22046	1		・1976年自営農 バイア州		
22047	1		・1978年自営農 マラカナン移		
22048	1		・1979年APIL社勤務トノアス→サンタ・イザベル		
22049	1		・1975年自営農第2トノアス→第2トノアス		
22050	1			・1977年3月	
22051	1		・1975年トノアス産業組合勤務 トノアス→トノアス		
22052	1		・1977年自営農トノアス→バイア州		
22081	1			・1976年3月	
22082	1		・1976年自営農第2トノアス→第2トノアス		
22083	1		・パール経営 Santo Antonio→マナウス		
22106	1		・1979年自営農ベレン近郊→サンタレン近郊		
22131	1		・1978年自営農第2トノアス→第2トノアス		
22163	1		・1978年自営農トノアス→トノアス		
22211	1		・1978年自営農トノアス→トノアス		
22212	1		・1979年自営農サンタイゼベル→イガラツペアス		
22213	1		・1979年自営農アカラ→アカラ		

サンパウロ支部

22014	1		・会社異動ソニブラ(執行社)勤務 São→São		
22018	2		・会社員 São→Paraná		
22053	2	○			
22054	1		・歩合作		
22055	1			・1978年4月	
22056	1			○	
22057	1				一時帰国 帰国後農事 会社を営む予定
22058	1		・本屋K勤務Paraná→São		
22059	4			○	
22060	3			・1979年1月	

台帳番	渡航時 人数	渡航時期同じ	具 動	帰 国	備 考
22061	1			・1976年	
22062	1		・イイホン美容機具材料店勤務 São→São		
22063	2			・1976年	
22064	2			・1976年	
22065	4			・1977年	
22066	2		・兄弟でアルミサッシ製造工場経営 São→Prudente		
22067	1		・		
22085	1		・バラ栽培、借地		
22086	1		・イハラプラス社勤務 São→São		
22087	1		・1979年花店経営 São→São		
22088	1		・店の手伝い São→Maraus		
22089	1		・美容院勤務 São→Paraiso		
22090	1			・1977年	
22091	3				不明
22109	1		・Pratania Agro Aircultura Ltda. São→São		
22132	1			・1980年9月	
22133	1		・インプラス勤務 São→R.J.		
22134	1		・総領事館勤務、マッケンジー大学在学		
22135	1		・ヤクルト・ブラガンサパウリスタ農場勤務		
22136	5			・越播	妻はモジ市内在住
22137	1				1979年一時帰国
22138	1				1980年一時帰国
22139	1		・弓場農場勤務 São→São		
22140	1		・証券会社勤務 São→São		
22141	1		・会計事務所勤務、リオ経済大学在学 Parana→Rio		
22142	1		・学生		
22143	1		・自営業		
22144	1			・1978年1月	
22145	1		・契約栽培(ツクルイー水力発電所建設工 事会社に野菜供給)		
22146	1		・São→Rio		
22164	1		・セールスマン(事務用機器) São→São		
22165	1		・自営(コーヒー栽培) S.P. →ミナス州		
22166	1		・鉄道関係のシナリオ勉強中		
22167	1		・独立、グラジオラス栽培		
22168	2		・美容院、美容学校経営		

台帳No	渡航時 人数	渡航時間同じ	異 動	帰 国	備 考
22169	1				1978年一時帰国 現在 アメリカに居住している様子 病気の為家族で 一時帰国
22188	2			・1978年8月	
22189	1				
22214	2			・1979年10月	
22238	2		・ジ+カレイで独立(花卉栽培)		
22239	1		・宝石店勤務 São → Rio		
22240	1	○			
22241	4		・洋品店経営 São → São		
22242	5				

ブエノス・アイレス支部

22036	1			・1976年11月	
22075	1			○	
22123	1		・1976年借地にて独立(養蜂) Buenos → Buenos	○	
22124	1			○	
22154	5		・牧師		
22184	1		・1977年独立 Bs.As → Bs.As		
22204	1			・1976年10月	
22255	1			・1977年1月	
22256	1			・1976年8月	

アスンシオン支部

22264	1		・ブラジルへ転住		イグアスからブラジルへ 転住の手続き
22016	1			・1980年2月	
22040	1		・自営農(養菜) 1977年 Alto Parana → Alto Parana		
22041	1			○	
22042	1			○	
22080	4		・洋店主 Asuncion → Asuncion		家族とは別居中
22103	1		・自営農(養菜) イグアス → イグアス		一時帰国中
22104	1			・1978年10月	
22128	1		・1977年自営農(養菜) イグアス → イグアス		
22129	1		・自営農(耕作) イグアス → イグアス		
22130	1		・1979年自営農、パ農試験勤務 イグアス → イグアス		
22186	1		・自営農(養菜・耕作) イグアス → イグアス		

台帳名	渡航時 人数	渡航時と同じ	異 動	帰 国	備 考
22208	1		・指根植木勤務イグアス→イグアス		
22233	1		・自営農(自兼 久、一二と共同経営)		
22262	1			・1976年2月	
22263	1		・農業を離れたが同国に定着 ・CAPIATA 235号 Central		

(昭和53年度)

ベレン支部

22879	1		・自営農 80.8 独立		自費
22880	2		・ 80.6		
22921	1	○			
22922	1	○			
22923	1		・自営農 79.10 独立		
22924	1		Be→Be 旅行社勤務		
22925	1		・自営農 80.3 独立		
22926	1		Be→サンパウロ証券会社社員		
22927	1		・自営農 80.5 独立		
22928	1	○			
22967	1	○			
23044	1	○			
23045	1	○			

サンパウロ支部

22811	4		São Paulo→S. Paulo アルミサッシ工場兄弟で経営		
22882	3		S.P.→S.P. ヤクルト牧場勤務		
22892	1		コマチ産稻 São→Santa Izabel		
22893	1	○			
22894	4	○			
22895	1		S.P.→S.P. コカコーラ社勤務		
22931	1		S.P.→ミナス・セライス農学生(全拓)		
22932	1		S.P.→リオ・ブランデ 農学生(全拓)		
22933	1			○	
22934	1		S.P.→リオ・ブランデ 農学生(全拓)		
22935	1				
22936	1		S.P.→ラ		

台帳名	渡航時 人数	渡航時期同じ	異 動	帰 国	備 考
22937	1		S.P.→リオ・グランデ農学生(全拓)		
22938	1		S.P.→レウル 毛皮靴会社		
22939	1		パラナ→リオ・グランデ農学生(全拓)		
22952	1	○			
22953	3	○			
22954	1		S.P.→リオ布教師		
22955	1			1980.5	
22956	4		S.P.→S.P. 植物業		
22957	3	○			
22958	1	○			
22959	1		S.P.→S.P. 保険セールス		
22960	1				1979.5 死亡
22968	1				
22969	1		Sao → Guacemara		
22970	1			1979	
22971	1			1979	
22972	1		S.P.→S.P.		
22973	1		・ 農場管理人		
22974	1		・		
22975	1		・ ナショナル電気就労		
22976	1				不明
22977	1		自営農 55年2月危地区		
22978	1			一時帰国	
22979	4		パラナ→サンパウロ 農機具修理工場経営		
22980	2	○			
22981	1		S.P.→S.P.		
22982	7		S.P.→S.P. 縫製下請		
22983	4	○			
22984	1	○			
23005	1			1980.6	
23006	5		S.P.→S.P. 自営農		
23019	1			1980.2	
23020	1		S.P.→マツト・グロッツ自営農		
23021	1			1980.8 一時帰国	

台帳番	渡航時 人数	渡航時に同じ	異 動	帰 国	備 考
23022	5		S.P.→S.P. 自営農		
23023	2		" 農場管理人		
23024	2		" スーパーマーケット経営		
23025	1		" キリスト教布教師		
23076	1	○			自費

ポルト・アレグレ支部

22943	1	○			
22944	1	○			

ブエノス・アイレス支部

22869	1	○			
22890	2		ノンドサ→ブエノス		
22945	1	○			
22946	1		ブエノス→ブエノス鉄工場勤務		
22947	2	○			
22948	1			一時帰国	
22992	1		ミシオネス→ブエノス		
22993	1	○			
23048	4				1979.8死亡家族帰国
23049	1		ミシオネス→ミシオネス花卉運搬販売		
23050	5		ブエノス→ブエノス税関業		
23051	1	○			
23070	1			1977	自費
23077	1	○			.

アスン・シオン支部

22856	1		・雇用農→自営農		
22871	1		ブラジル転住日系牧食品店		
22872	1			1980.4	
22950	1	○			
22998	1			1980.7	
23018	1		アルゼンティンへ転住学生		
23054	1	○			
23055	1		サラリーマン		

サンタクルス支部

台帳No	渡航時 人数	渡航時に同じ	異 動	帰 国	備 考
22816	3	○	レストラン経営 ・雇用費→自営費		不明
22875	5				
22876	4				
23056	1				

コロンビア

23060	1		会社員		
-------	---	--	-----	--	--

6 雇用工移住者の動向

いわゆる工業技術移住者であり、50年度87件（技術移住者家族の後日渡航1件を除く）
53年度95件であり、この動向は表12の通りである。

表12 雇用工移住者の動向

昭和50年度移住者		昭和53年度移住者	
動 向	件数	動 向	件数
(ベレーン支部)		(リオ・デ・ジャネイロ支部)	
帰 国	1	渡航時と同じ	2
(リオ・デ・ジャネイロ支部)		勤務先変更(他地区)	1
帰 国	2	一時帰国	1
不 明	2	(サンパウロ支部)	
(サンパウロ支部)		渡航時と同じ	21
渡航時と同じ	5	独 立(同地区)	6
独 立(同地区)	8	勤務先変更(同地区)	31
・ (他地区)	1	農業(独立、歩合作)	2
勤務先変更(同地区)	28	その他	2
・ (他地区)	5	帰 国	11
帰 国	17	一時帰国	2
一時帰国	1	不 明	1
不 明	3	(ポルト・アレグレ支部)	
(ブエノス・アイレス支部)		勤務先変更(他地区)	1
渡航時と同じ	3	(ブエノス・アイレス地区)	
独 立(同地区)	2	サラリーマン(同地区)	1
農業で独立(他地区)	1	帰 国	2
その他	2	(アスンシオン支部)	
帰 国	2	渡航時と同じ	4
不 明	1	ボリヴィアに転出	1
(アスンシオン支部)		一時帰国	1
不 明	1	(サンタ・クルス支部)	
(サンタ・クルス支部)		帰 国	2
勤務先変更(同地区)	1	不 明	1
帰 国	1		

雇用農移住者と同様、異動の激しい移住カテゴリーである。渡航時の企業に継続して勤務しているものは50年度移住者で9.2%、53年度移住者ですら29.1%にすぎない。職種はそのまま企業を変っているものは両年度共30%を超している(39.1%、34.4%)が、職種を変えて転職したものは50年度1.1%、53年度4.2%と少ない。技術を身につけた移住者であることを考えれば、まったく違った職種に移ることは条件的に不利になることは明らかで、この辺は雇用農移住者と大いに違う点である。又、雇用農移住者程ではないにしても移住後独立することは、このカテゴリーの移住者にとっても大きな夢であろうが、独立状況(共同経営も含む)を見ると50年度12.7%、53年度6.1%とまだ低い水準にある。一時帰国を除く帰国者の率も雇用農同様26.4%、17.7%と高い。

雇用工移住者個々の動向については表13の通りである。

表13. 昭和50年度、53年度雇用工移住者個別動向表

(昭和50年度)

ペレン支部

台帳No	渡航時人数	渡航時と同じ	異 動	帰 国	備 考
22237	1			・1979年7月	

リオ・デ・ジョネイロ支部

22183	2			・1976年7月	不明リオ市の在住の様様
22202	1				当初から引受企業に就労していない
22226	5			・1977年9月	当初から引受企業に就労していない
22227	2				

サンパウロ支部

22019	5		・タウパテ市にて天童木工社経営	○ ・1979年9月 ・1977年7月	不明 一時帰国、再渡航の予定Sãoに家を購入(月銭)
22020	1				
22021	3		・会社異動グラスリッチ社 São→São		
22022	1				
22023	3		・会社異動A.N.B食品工業 São→São		
22024	1				
22025	1				
22026	1				
22027	1		・会社異動サニ電設 São→Sãode		

台帳番	渡航時 人数	渡航時期同じ	異 動	帰 国	備 考
22028	4		・会社異動Accomat社São→Santa Catarina		
22029	1			○	
22068	1		・会社内異動São→モジ市		
22069	2	○			
22070	1		・会社異動ソフト電気社勤務São→São		
22071	1		・会社異動ヤクルト高工勤務São→São		
22072	1		・会社異動グラスリッチ社勤務São→São		
22073	1			○	
22092	1		・会社異動サンスイ社勤務São→São		
22093	1	○			
22094	4		・印刷用スタンプ製作工場を共営 São→São スザノ市		
22095	1				・1977年12月
22096	1		・会社異動サンスイプラスチック社勤務São→São		
22097	1		・会社異動N.G.K.社勤務São→São		
22098	1		・食料経営(モジ市)São→São		
22099	1				・1975年8月
22110	1			○	
22111	1		・会社異動DEDINI社勤務São→São		
22112	4		・会社異動PROMON社勤務São→São		
22113	1		・会社異動アルモテック社勤務São→São		
22114	1				・1978年12月
22115	1		・会社異動エンブラエル社勤務São→São		
22116	1		・会社異動BROWN BOVERI社勤務 (オザスコ市)São→São		
22147	5		・会社異動NIFOCON社勤務São→São		
22148	1		・会社異動C.C.E社勤務São→São		
22149	1		・会社異動戸田建設勤務São→São		
22170	3		・モジ市内でバステリア共営(兄弟3人)São→São		
22171	1				・1979年5月
22172	5		・会社異動JICA工業移住センター勤務 São→São		
22173	4		・会社経営(テッソン工業)São→São		
22174	2			○	
22175	1		・アド電気共営		
22176	1		・サンスイプラスチック社勤務São→São		
22177	1		・鉄製シャッター製作工場経営(共営) São→São		

台帳No	残航時 人数	残航時に同じ	異 動	帰 国	備 考
22178	1	○			会社帰途の為、帰国して いるようだが住所不明
22179	1			○	
22180	1		・会社異動建築技師 Parara→Rio		
22181	1		・会社異動Comexport CIA Ltda. São→São		
22190	3			・1978年8月	
22191	1			・1978年8月	
22192	1		・会社異動南米技術製造社勤務 São→Rio		
22193	1		・会社異動アルプス電気社勤務 São→São		
22194	1		・会社異動ヤマハモーター勤務 São→São		
22195	1		・会社異動EMBRAER勤務 São→São		
22196	3			・1980年8月	
22197	1		・会社異動N.G.K(モジ市)勤務 São→São		
22115	1	○			
22216	1		・会社異動水産研究所(ビトリア)勤務		
22217	1		・会社異動ECRD社(サンベルナルド・ド・ カンボ)勤務 São→São		
22218	3		・会社異動DAFERNER社(フロカ)勤務 São→São		
22219	1		・会社異動サンスイプラスチック社勤務 São→São		
22220	7				不明
22243	3		・靴しゅう造を製作、販売 São→São		
22244	1			○	
22245	2			○	
22246	3		・自営電子機器修理 São→Santos		
22247	1		・会社異動味の素(リノイラ)勤務 São→São		
22248	1		・会社異動サン電設勤務(フロカ市) São→São		
22269	3				不明

ブエノス・アイレス支部

22076	1		・貿易業(共営者)		
22077	1		・1977年結婚 Bs.As→Bs.As		
22125	1			○	
22155	1	○			現在一時帰国中
22156	1	○			
22157	1		・1976年共営		
22158	4		・Buenos→Rio Jegro		
22185	1		・結婚 Bs.As→Bs.As		

台帳No	渡航時 人数	渡航時と同じ	異 動	帰 国	備 考
22205	1			○	Losに在る様子 出国のまま不明
22228	1				
22257	1	○			

アスンシオン支部

22043	1				不明
-------	---	--	--	--	----

サンタクルス支部

22235	4		・会社異動日系進出会社SUTD社勤務 サンタクルス→サンタクルス		
22266	1			・1960年	

(昭和53年度)

リオ・デ・ジョネイロ支部

22917	1	○			
23015	1		リオ→ミナス会社内異動		
23041	1		リオ→サンパウロ		
23074	1			一時帰国	

サンパウロ支部

22818	1		S. Paulo→S. Paulo 三洋電子に就労		
22819	1			1960.3月	
22820	1		S.P.→S.P. ビデオ回路アダプタソソ共営		
22822	2		S.P.→S.P.		
22823	1	○			
22824	1	○			
22825	1	○			
22826	2		S.P.→S.P. 自営(塗料製造)		
22829	1			1960.6月	
22830	1			1979年	
22831	1	○			
22832	6	○			
22833	1	○			
22834	1	○			
22835	1		S.P.→S.P.		

台帳番	渡航時 人数	渡航時間	異 動	母 国	備 考
22836	1		S.P.→S.P.		
22837	4		S.P.→S.P. 池森→東芝		
22838	3		S.P.→S.P.		
22839	1	○			
22840	1		S.P.→S.P. 山崎→C.B.C		
22841	1		S.P.→S.P. 宿屋→SANNY		
22842	1		S.P.→S.P. 東芝		
22843	4	○			
22844	1			○	
22845	1		S.P.→S.P. HOWA→SANSUY		
22846	1		S.P.→S.P. HOWA→MOTO RADIO		
22847	1		S.P.→S.P. オープン→宿屋		
22848	1		S.P.→S.P. SANNY→日立		
22849	1			一時帰国中	
22850	1		自営(印刷所)		
22861	2			1980.4	
22862	1		S.P.→S.P. 共営(機械設計)		
22896	1	○			
22897	1	○			
22898	1				不明
22899	5			1979.10	
22900	1		S.P.→サンタカタリーナ ラーモス移 住地リング栽培 多合作		
22901	1	○			
22902	1		S.P.→S.P.		
22903	1		S.P.→S.P.		
22904	1		S.P.→S.P. 日立→ナショナル		
22905	1		S.P.→S.P. 教会教員		
22906	1	○			
22907	5			1979.8	
22908	5		S.P.→S.P. 豊和→SANSUY		
22909	1		S.P.→S.P. 共営(通信機器)		
22910	1		S.P.→S.P.		自費
22911	1		S.P.→S.P.		
22912	1		S.P.→S.P. 豊和→NG.K		

台帳No	渡航時 人数	渡航時期同じ	異動	帰国	備考
22913	1			一時帰国中	
22961	5			○	
22962	1		S.P.→リオ 学生		
22963	4	○			
22964	1		S.P.→S.P.		
22985	1		・ ナショナル		
22986	1		・ 宿屋→サンスイ		
22987	4			○	
22988	1			1979.9	
23007	4			1980.7	
23008	1		S.P.→S.P. TAKIDIAS→SANSUY		
23009	1	○			
23010	1		S.P.→S.P.		
23011	4			1980.1	
23012	1		S.P.→マツト・グロップ牧畜業パレピ		
23013	1	○			
23026	3		S.P.→S.P.		
23027	1		S.P.→リオ		
23028	1	○			
23029	1		S.P.→S.P.		
23030	1			○	
23031	1	○			
23032	1	○			
23033	1		S.P.→S.P. MIYAKOJIMA→KANEBO		
23034	1		S.P.→S.P.		
23035	1		無職		
23036	1		S.P.→S.P. 自営パン製造		
23065	1	○			自費
23066	1	○			・

ボルトフレグレ支部

23042	3		ボルト→サンパウロ		
-------	---	--	-----------	--	--

ブエノスアイレス支部

台帳名	渡航時 人数	渡航時比同じ	異 動	帰 国	備 考
22994	1		ブエノス→ブエノス 雇用商	1980年4月 1979.8	
22995	1				
23052	10				

アスンシオン支部

22814	1	○	パラグアイ→ボリヴィア(雇用商)	1980.2 一時帰国中	自費
22815	1				
22873	1				
22999	1	○			
23000	1	○			
23069	1	○			

サンタクルス支部

23002	1			1979.10	
23058	1			1979.9	
23059	1				不明

6 その他移住者の動向

このカテゴリーの移住者は農業及び工業技術移住者以外の移住者で、勿論近親呼寄せ移住者を除いている。職種的には商業、事務関係等で、内訳は表14に示す。

表14 昭和50年度、53年度
その他移住者職業(内訳)

50年度		53年度	
職 種	件数	職 種	件数
機械技術者(自営)	1	宣 教 師	2
日語学校教員	1	獣 医 師	2
教 師	1	会計実務技能者	1
商 業	1	幼稚園教諭	1
従 業 員	1	保 母	1
		教 師	2
		商 業	3
		調 理 師	1

絶対数が少ない(50年度5件、53年度12件)ため、その動向についてうんぬんすることは出来ないが、一般的動向を示すと、表15の通りであり、移住者個々の動向については表16の通りである。

表15. その他移住者動向

昭和50年度移住者		昭和53年度移住者	
動 向	件 数	動 向	件 数
(サンパウロ支部) 不 明	1	(サンパウロ支部) 渡航時に同じ	2
(ブエノス・アイレス支部) 渡航時に同じ	1	(アスンシオン支部) 渡航時に同じ	1
(アスンシオン支部) 帰 国	1	(アスンシオン支部) 不 明	1
(サンタ・クルス支部) 勤務先変更(他地区)	1	(サンタ・クルス支部) 渡航時に同じ	4
(サンタ・クルス支部) 帰 国	1	(コロンビア) 帰 国	1
		(ベネズエラ) 渡航時に同じ	1
		帰 国	1
		不 明	1

表16. 昭和50年度、53年度その他移住者個別動向表

(昭和50年度)

サンパウロ支部

台帳.№	渡航時 人数	渡航時に同じ	異 動	移 国	備 考
22267	2				不明

ブエノスアイレス支部

22270	5	○			
-------	---	---	--	--	--

アスンシオン支部

22161	1			○	
-------	---	--	--	---	--

サンタクルス支部

22017	1				・1978年11月
22045	3		日系進出企業 SUTO社 La Paz→Santa Cruz		

(昭和53年度)

サンパウロ支部

23068	1	○			自費
23073	1	○			・
22821	2	○			

アスンシオン支部

22858	1				不明
23001	1	○			

サンタクルス支部

22878	1	○			
23003	1	○			
23004	1	○			
23057	1	○			

コロンビア支部

23061	1			1979.9	
-------	---	--	--	--------	--

ベネズエラ支部

23062	1			1980.7	
23063	1	○			
23067	2				報告なし 自費

7 近親呼寄せ移住者の動向

このカテゴリーの移住者については、呼寄せ人の動向が問題となるのであって、近親呼寄せ移住者の動向を分析することには意味がない。ここでは参考までに近親呼寄せ移住者の個々の動向を、表17に示すにとどめる。

表17. 昭和50年度、53年度近親移住者個別動向表

(昭和50年度)

ペレン支部

台帳No	渡航時 人数	渡航時と同じ	異 動	帰 国	備 考
22084	1	○			
22107	1	○			
22108	1			・1978年4月	
22150	1	○			

リオ・デ・ジャネイロ支部

22033	1			・1976年8月 離婚・帰国	
22034	1	○			
22035	1	○			
22203	1			・1980年4月	主人の両親と同居の為
22254	1	○			
22120	2				不明

サンパウロ支部

22015	2	○			
22030	1	○			
22031	2	○			
22032	1	○			
22074	1	○			
22100	1	○			
22117	3	○			
22118	1	○			
22119	1	○			
22271	1	○			
22151	1			・1976年3月 夫と共に	

台帳名	渡航時 人数	渡航時期同じ	異動	帰国	備考
22152	1				不明
22182	1	○			
22198	1	○			
22199	1				不明
22200	1		・夫は1980年7月死亡、亡夫の家族と同宿		
22201	1	○			
22221	1			・1980年3月	
22222	1				不明
22223	1	○			
22224	1	○			
22225	1	○			
22249	4			・1979年	夫は現地天童木工勤務
22250	3			・1980年	
22251	2	○			
22252	1	○			
22253	1			渡航後すぐ 離婚	
22268	4				不明

ポルトアレグレ支部

22121	1	○			
22122	1	○			
22153	2			・1976年7月	

ブエノスアイレス支部

22037	1			・夫と共に	
22078	1			・1976年1月	
22079	1				一時帰国中、病氣療養
22101	1	○			
22126	1	○			
22159	1	○			
22206	1			・1977年	
22229	1	○			

アスンシオン支部

台帳番号	渡航時 人数	渡航時に同じ	異動	帰国	備考
22044	1			・1977年3月	
22209	1	○			
22234	1			○	
22265	1	○			

サンタクルス支部

22162	1	○			
22236	1	○			

コロンビア

22187	1				
-------	---	--	--	--	--

(昭和53年度)

ベレン支部

22860	1	○			
22881	1		自営農1970独立		
22929	2	○			
22930	1	○			
22046	1		自営農1976独立		
22047	1		・1976独立		

レジューフェ支部

22828	1				不明
-------	---	--	--	--	----

サンパウロ支部

22851	1	○			
22852	1		S.P.→Rio 木下農園→独立(苗木販売店)		
22853	2	○			
22854	1	○			
22863	1	○			
22864	1		S.P.→Belem		
22865	2	○			
22866	1	○			

台帳No	渡航時 人数	渡航時K同じ	異 動	帰 国	備 考
22867	1	○			
22883	1	○			
22884	1	○			
22914	1		S.P.→ミナス・ゼライス		
22915	2	○			
22916	1	○			
22940	1				不明
22941	1	○			
22942	1	○			
22965	2	○			
22966	2	○			自費
22989	1	○			
22990	1	○			
22991	1	○			
23014	1	○			
23037	2	○			
23038	2	○			
23039	1	○			
23040	1	○			

ポルトアレグレ支部

22868	1	○			
22885	1			一時帰国	
23043	1	○			

ブエノスアイレス支部

22827	2	○			
22855	1	○			
22859	1	○			
22918	2	○			
22949	2	○			
22996	1	○			
23071	1	○			自費
23072	1	○			

アスンシオン支部

台帳名	渡航時 人数	渡航時に同じ	異 動	帰 国	備 考
22815	○				
22874	○				
22889	○				
23064	○				
23075	○				

サンタクルス支部

22817	○				
22877				1980.5	
22891	○				
22951				一時帰国中	

全 機 関 の 長 殿

移住計画調査部長

移住者動態調査について(指示)

移住者の実態、動態については、従来「移住者動態調査」(カナダ)および「雇用員実態調査」「工業移住者実態調査」「散在移住者実態調査」として実施し、その掌握に努めて来た。

しかし、これら調査は移住形態こそ違え、同じ移住者を調査対象としており、この区分を越えて総合的に移住者の実態を把握する必要がある。さらに、調査を担当する各支部においても同様調査の重複の感が強く、業務の複雑化を招いていたことと考えられる。

こうした点を考慮し、本年度より移住者の実態に関する調査は次のとおり整理して実施することとする。

また、移動の激しい移住者を調査の対象とするため、単に海外支部の努力だけでは限界があり、今後は、国内支部の協力も得ることとしたい。

1. 基礎調査

渡航後2年目、5年目の移住者を本部において支部別にリスト・アップし、当該支部に夫々のリストを送付する。

各支部は、このリストの内容をチェックし、氏名、現住所、家族情況、現職業を報告する。現状を確認できないものは、不明として報告のこと(ただし、国内支部は現況判明のもののみ報告のこと)。

なお、報告は、別添様式1による。

2. 特別調査

本部において、特定の調査対象を設定し(例えば、渡航後10年目の雇用員移住者等)、1.と同様リストにより現状を確認のうえ、簡単なアンケートを実施する。

昭和55年度は基礎調査のみを実施することとし、別添のとおり貴支部関係移住者リストを送付するので、様式1により9月末日までに報告ありたい。

なお、現状を確認するため、旅費、通信費等、必要な場合は申請願いたい。

- 添付物：1. 貴支部関係移住者リスト 1部
2. 報告用様式1(記入例) 1部
3. 海外支部用報告様式(海外支部のみ) 1部

(除) トロント、ロス・アンジェルズ、キャンペラ 各駐在員

以上

様式 1.

移住者動態調査報告書（記入例）

氏 名	現 住 所	職 業	家族状況	備 考
(海外支部)				
国察太郎	Col.Yguazu, Dep de Alto Parana.Paraguay	自営業 (養殖)	妻 1.子 3.	雇用費として移住後 1980年3月独立 引受企業に就労中 月給 30,000 G/s アルゼンティンに転住か?
移住次郎	№ 115, Mexico, Asuncion, Paraguay	機械工	妻 1.子 3.	
新宿三郎	不 明			
四谷四郎	帰 国(1980年3月)			
(国内支部)				
山梨一郎	山梨県甲府市 3-8			1979年11月帰国
沖橋五郎	Col.Okinawa.№1. Sants Cruz, Bolivia	自営業 (養殖)	妻 1.子 1.	1979年12月 事務所への手紙による

在外支那	国内支那	氏名	渡航年月日	渡航先住居	国内連絡先	氏名	続柄	形態	備考	秀
ベレン	北海道		50. 7. 12	Município de Tomé - Acu. Est. do Pará Kanuchika Ono	北海道釧路郡瀬川町本町 584		父	計画渡		
	仙台		50. 4. 25	Núcleo Colonial Daini Tomé - Acu. Município de Tomé - Acu - Pará Brasil Koichi Ota	宮城県遠志郡笠神字天満崎 15-5		兄	計自		
			50. 7. 12	Município de Santo Antônio de Tauá, Est. do Pará Hisanori Kimura	秋田県北秋田郡田代町岩瀬字上岩瀬 17		父	計画渡		
			50. 7. 26	Município de Tomé - Acu. Est. do Pará Hiroshi Sugita	青森県八戸市大字発布 70-2		母	計画渡		
			51. 2. 18	Núcleo Colonial Daini Tomé - Acu. Est. do Pará. Brasil Yoshinobu Nishimura	青森県むつ市大字田名部字内田 42-588 TEL 01752-2-1654		父	計画渡		
			50. 10. 25	Colônia Daini Tomé - Acu. Tomé - Acu, Pará Choko Yama	青森県南津軽郡平賀町大字新屋字栄盛 277 TEL 017244-3658		父	近亲		
	秋		51. 2. 18	Núcleo Colonial Daini - Tomé - Acu. Município de Tomé - Acu. Est. do Pará Brasil Hiroshi Ito	愛知県岡崎市鴨田町山田本 1-178		父	計自		
	茨		50. 7. 12	Município de Tomé - Acu. Est. do Pará Tanie Oshikiri	新潟県上越市稲田 3丁目 163 表の内		父	計画渡		

送出級支部別リスト

北海道支部

氏名	渡航年月日	渡航先住所	国内連絡先	氏名	続柄	形態	備考
	50. 7. 12	Município de Tomé-Açu, Est. do Pará Kawuchiko Ono	北海道札幌郡麻利町本町 584		父	自営農	
	50. 7. 12	Bairro Pinhalzinho, Município do Bragança Paulista, Est. do São Paulo Kichishiro Endo	北海道深川市新江町字国見 104		父	計雇農	
	50. 7. 12	Município de Atibaia, Est. do São Paulo (C.P. 39) Nobuyuki Hiranaka	北海道虻田郡新井町字大原 71		父	計雇農	
	50. 7. 12	Município de São Sebastião da Amoreira, Est. do Paraná. Takumi Shimada	北海道札幌市恵寿平区西岡 235		父	計雇農	
	50. 11. 15	Bairro Caucania, Município de Cotia, Est. do São Paulo Kiyotaka Sekabe	北海道旭川市水山町2条5 ~46		父	計雇農	
	50. 11. 15	Município de Nazaré Paulista, Est. do São Paulo Masaki Kurokawa	北海道厚田郡厚田町大字原 田村83~2 TEL. 8-2235		父	計雇農	
	50. 11. 15	Bairro Mombuca, Município de Ribeirão Preto, Est. do São Paulo Isao Otsuka	大阪府城東区筒生町3-7		父	計雇農	
	50. 11. 15	Bairro Mombuca, Município de Ribeirão Preto, Est. do São Paulo Akira Furuto	茨城県茨城郡茨野里村大字原 江井89-31 TEL. 02994-6-1555		父	計雇農	

